

2021 第37回 なにわ人権展(浪速・港・西区役所主催)

## いま守りたい私たちの人权 ～ウィズコロナ・ポストコロナの社会を共につながり共に生きる～

## 「なにわ人権展特設サイト」にてオンライン人権展を実施

この人権展は、1983年2月の「大浪橋差別落書き事件」を契機として、人権問題の早期解決を願い、1985年12月に通天閣で「第1回なにわ人権展」を開催して以来、浪速区をはじめとする関係区の主催で、毎年「地域人権展協力者会議」の協力を得て開催しているものです。

昨年度に続いて、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、従来のようなイベント会場に来場していただく形ではなく、インターネット上で、期間中いつでも、どこでも、何度でもアクセスしていただけるデジタルリーフレットやオンラインでのパネル展、講演会、映像資料等の内容で実施しました。

■ よんで知ろう！ 一デジタルリーフレット一（公開期間：11月1日～2月28日）

感染症に関する差別の歴史や同和問題(部落差別)について、わかりやすく解説するリーフレットを作成し、人権課題について「誰かのこと」ではなく「じぶんごと」として考えることのできる特集記事を掲載しました。

■みて知ろう！ オンラインパネル展 (公開期間:12月1日~2月28日)

4つのテーマでオンラインパネル展を実施しました。

- ◆コロナ時代の人権
  - ◆同和問題(部落差別)の歴史や現状について
  - ◆ハンセン病の歴史と回復者の生活について
  - ◆子どもたちからのメッセージ(小中学生の人権啓発作品)

■くわしく学ぼう！－オンライン講演会－(公開期間:12月1日～2月28日)

女性やシングルマザーへの食支援を通じた活動から、コロナ禍で深刻化する実生活の現状についてお伝えする講演会をオンラインにて配信しました。

- ◆講 師:山口 絹子さん(NPO法人しんぐるまさあず・ふおーらむ・関西 理事長)
  - ◆テーマ:シングルマザーと女性の貧困～コロナ禍で深刻化したこと～

ともに考えよう！－オンライン映像－（公開期間：12月1日～2月28日）

オンラインパネル展やリーフレットで学び、考えた人権課題について「見て」「聞いて」さらに深く考えることのできる映像を2作品公開しました。

- ## ◆ハンセン病の歴史と回復者の生活 ◆SDGsから考える肉と私たちの食生活